

イメージ・アルファ画像処理ライブラリ

IA_QRWriter マニュアル

第 1.00 版

株式会社 イメージ・アルファ

はじめに

本ドキュメントは、QRコード符号アプリケーション IA_QRWriter について解説しています。

表 0-1-1 本ドキュメントの適用バージョン

ソフト名	バージョン番号
IALIB	Version 1.2.1
IA_QRWriter	Version 1.0.0

目次

1. 概要.....	4
2. ファイル構成、インストール.....	5
3. 操作.....	6
3.1. 起動、終了.....	6
3.2. 制御パラメータの設定.....	7
3.3. 符号.....	10
3.4. 拡大表示、ファイル出力.....	11
3.5. QRコードを入力画像に重畳.....	12

1. 概要

IA_QRWriter は、文字列をQRコードへ符号化するアプリケーションです。

イメージ・アルファ画像処理ライブラリ IALIB の機能を使用しており、別途 IALIB のインストールが必要となります。

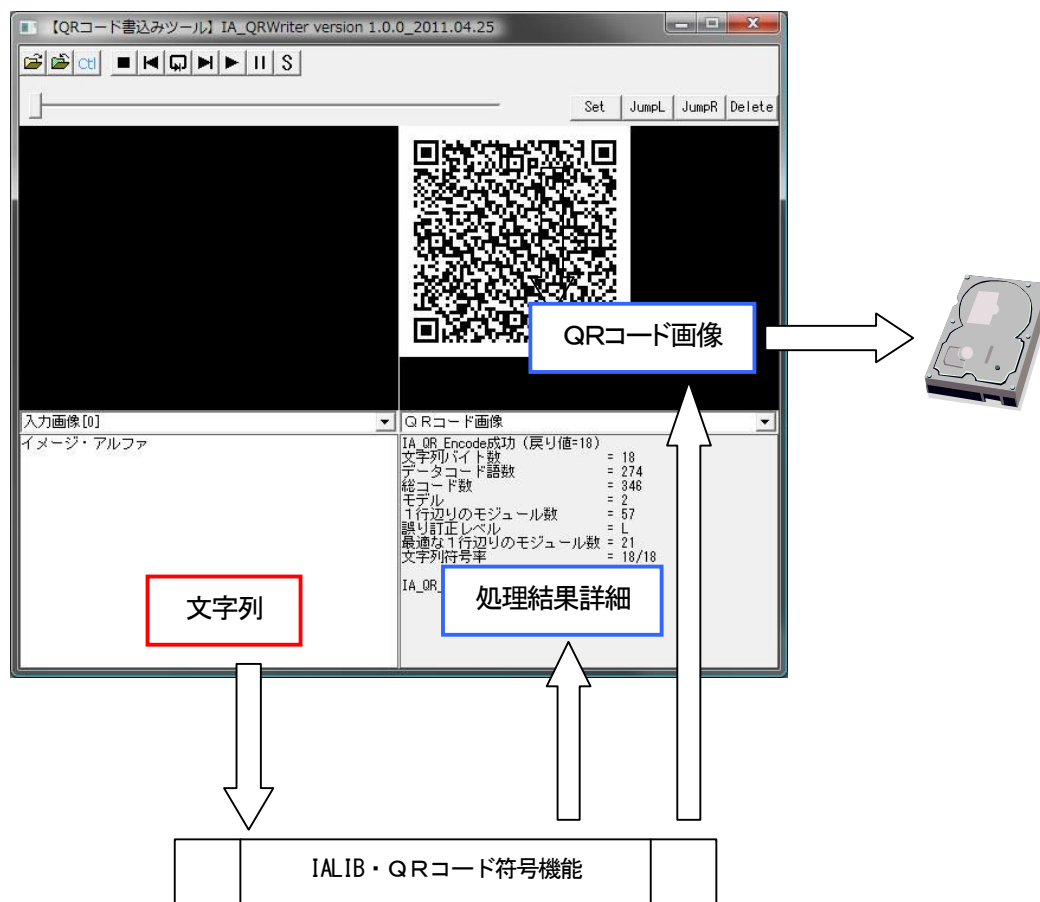


図 1-1 概要

2. ファイル構成、インストール

IA_QRWriter のファイル構成は図 2-1 の通りです。

これらを任意の位置に配置して使用してください。(インストール)

不要になったら削除してください。(アンインストール)

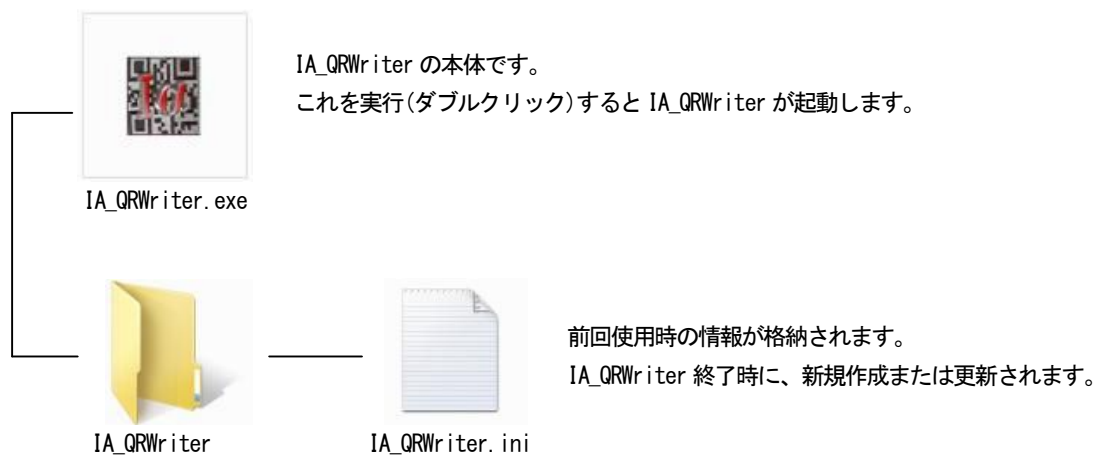


図 2-1 ファイル構成

3. 操作

(IA_QRWriter のGUIは、IALIBのEval機能にて作成しています。詳細はIA_Eval マニュアルを参照してください。)

3.1. 起動、終了

IA_QRWriter.exe を実行(ダブルクリック)すると、IA_QRWriter が起動しメインウィンドウが表示されます。
 メインウィンドウ右上の×をクリックすると終了します。

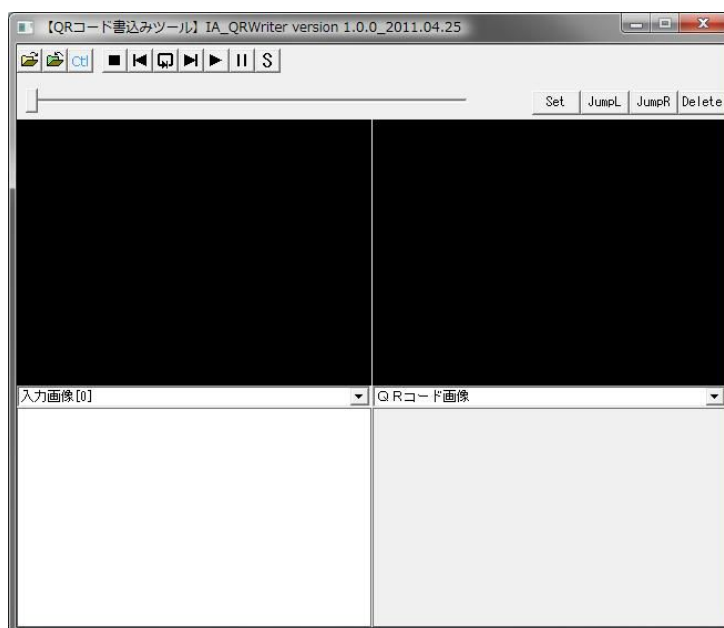


図 3-1 メインウィンドウ

3.2. 制御パラメータの設定

制御パラメータ設定ダイアログにて、符号や表示に関する各種パラメータを設定します。
種類別にタブで整理されています。

符号タブおよび描画タブのパラメータについての詳細はQRコード処理マニュアルを参照してください。

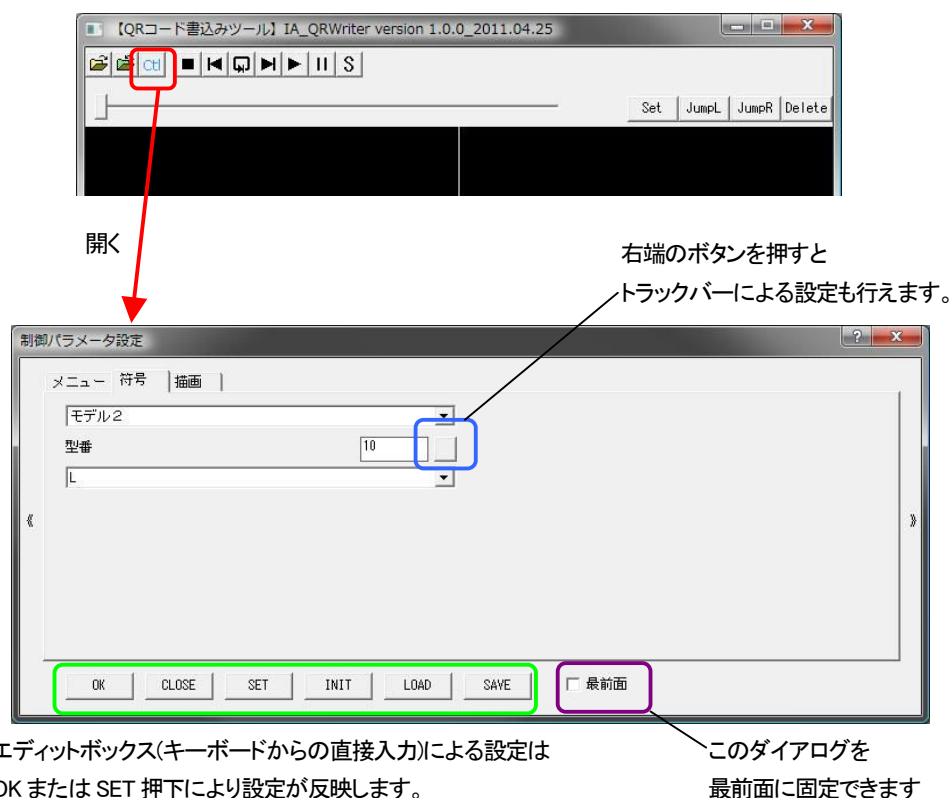


図 3-2 制御パラメータの設定

タブ	項目	内容
メニュー	Eval 画面設定	メインウィンドウに表示される画面のサイズ、数を指定します。 IA_QRWriter では2x1のみとなります。
	QRコード画像を 入力画像に重畳	ONにするとQRコードを入力画像に重畳します。(3.5節)
	処理Window 設定	QRコードを入力画像に重畳する範囲を設定します。(3.5節)
符号	モデル	モデル2、マイクロQRのいずれかを指定します。
	型番	型番を指定します。モデル2なら1~40、マイクロQRなら1~4。
	誤り訂正レベル	誤り訂正レベルを指定します。L, M, Q, H。
描画	画面データタイプ	CHAR 型(符号なし8ビット)、RGB 型のいずれかを指定します。
	1モジュール幅	QRコード(を構成するモジュール)の大きさを画素で指定します。
	余白幅	QRコード周辺の余白(クワイエットゾーン)を画素で指定します。

表 3-1 制御パラメータ



図 3-3 制御パラメータ設定ダイアログ・メニュータブ

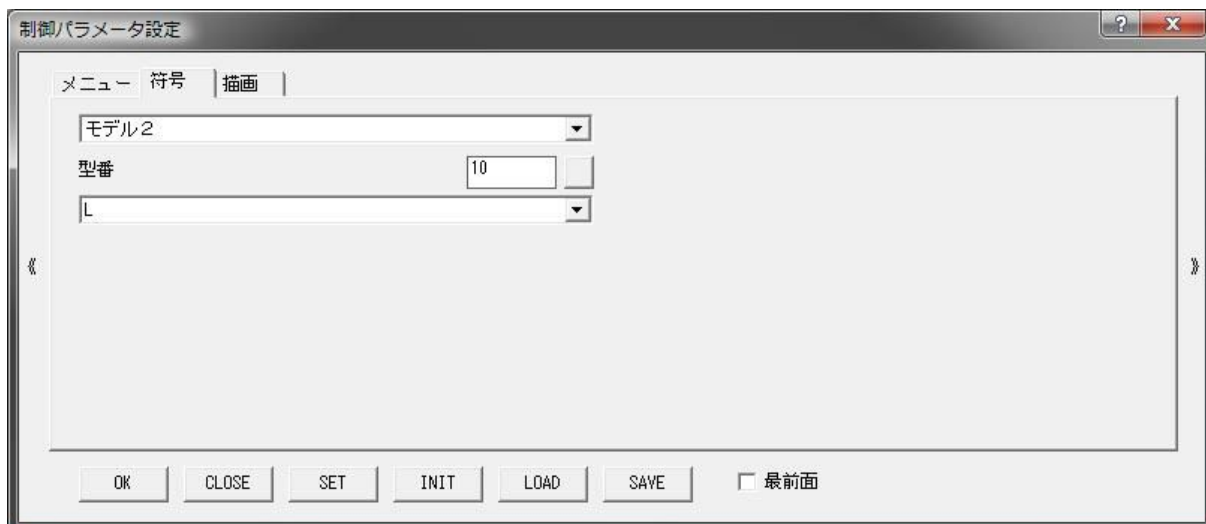


図 3-4 制御パラメータ設定ダイアログ・符号タブ



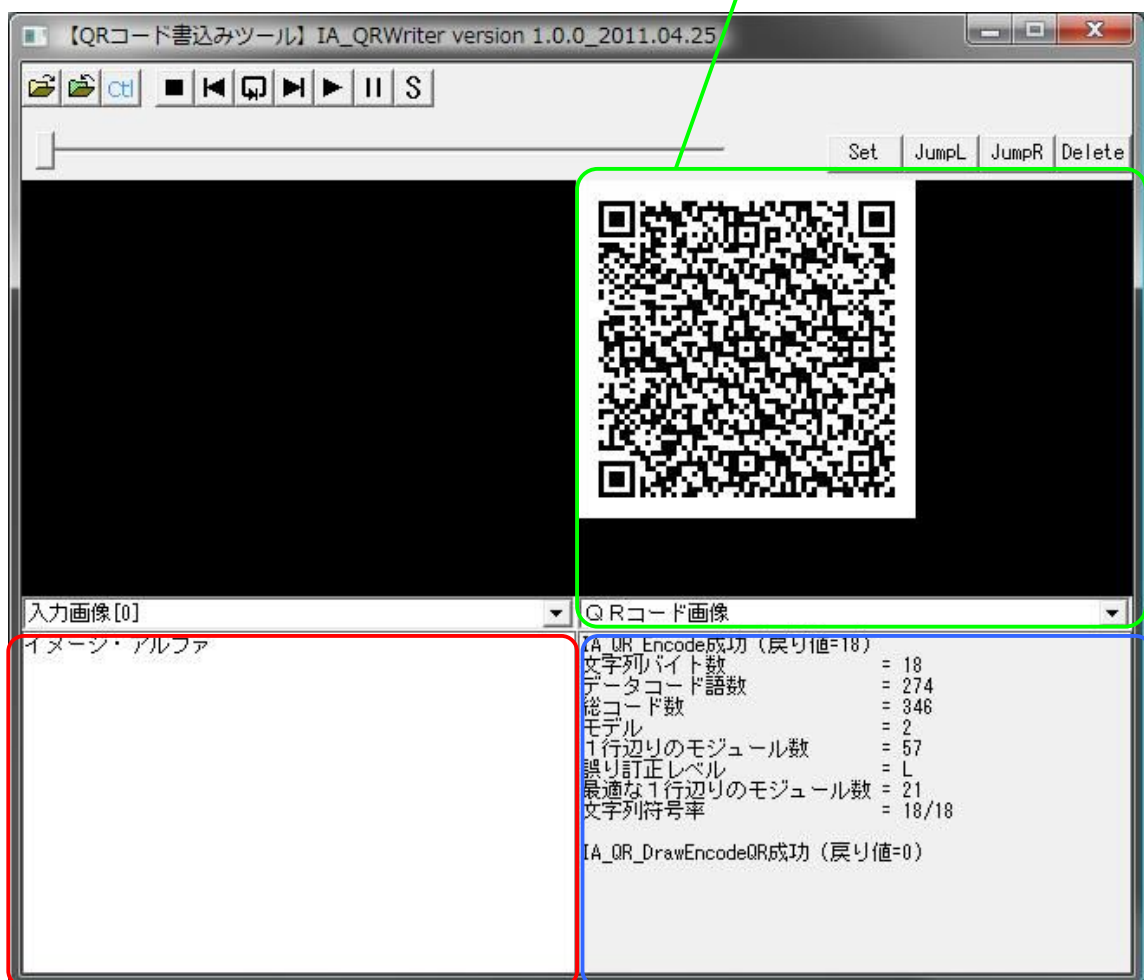
図 3-5 制御パラメータ設定ダイアログ・描画タブ

3.3. 符号

メインウィンドウ左下のテキストボックスに文字列を入力すると、設定された制御パラメータ (3.2 節) によるQRコードへの符号、描画を行います。

サイズの大きなQRコードの場合、その全体を表示することはできません。画面を右クリックして拡大表示ウィンドウを開くことでQRコード全体を確認できます。(3.4 節)

QRコードが表示されます。
(下のコンボボックスはQRコード画像を選択してください)



QRコードに符号したい文字列を入力します。

処理結果(成功失敗など)が表示されます。

図 3-6 処理実行、結果表示

3.4. 拡大表示、ファイル出力

画像を右クリックすると、IA_View ウィンドウが表示されます。
 全体表示、拡大表示、ファイル出力が行えます。

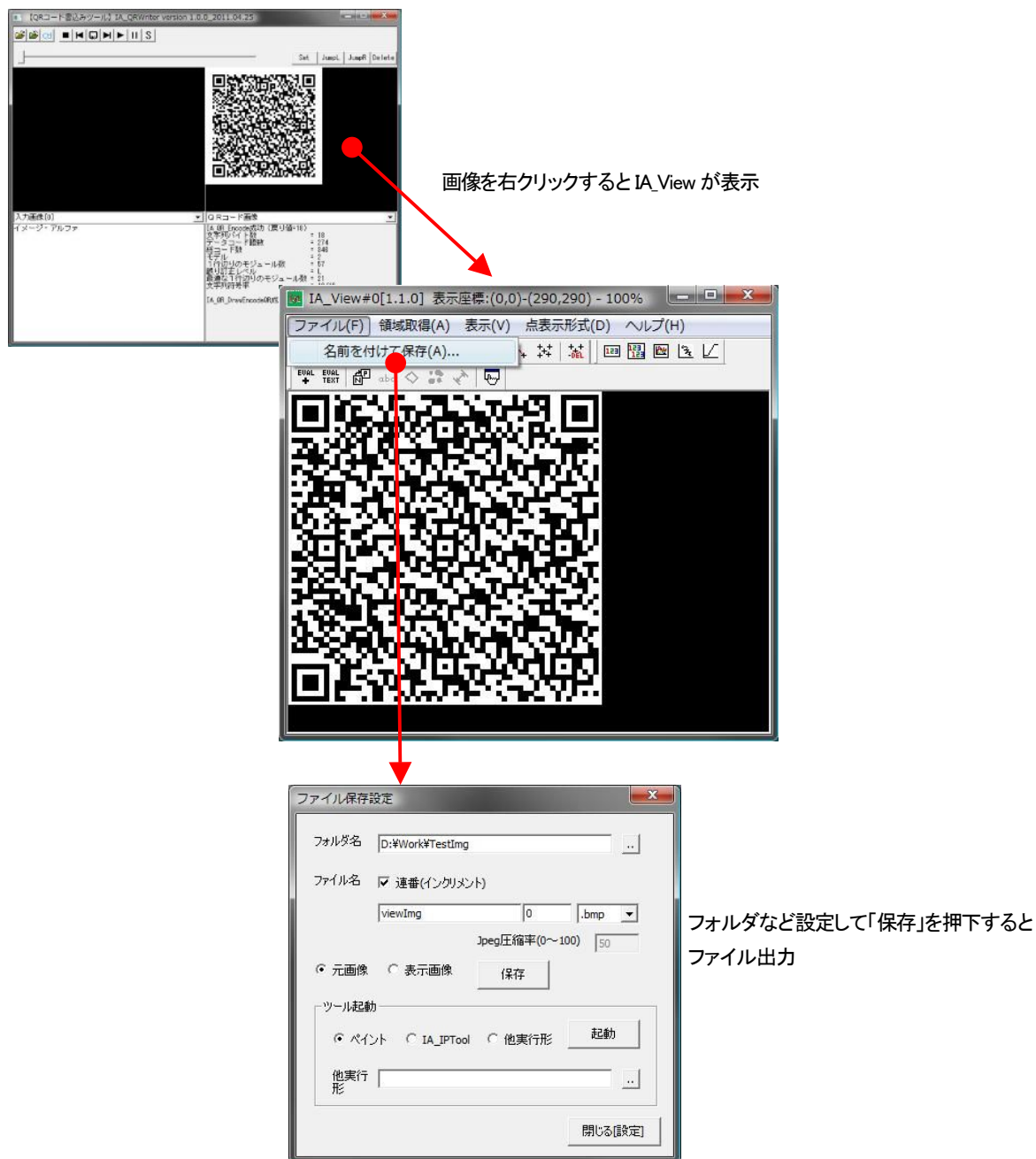


図 3-7 拡大表示、ファイル出力

3.5. QRコードを入力画像に重畳

QRコードを入力画像に重畳することもできます。

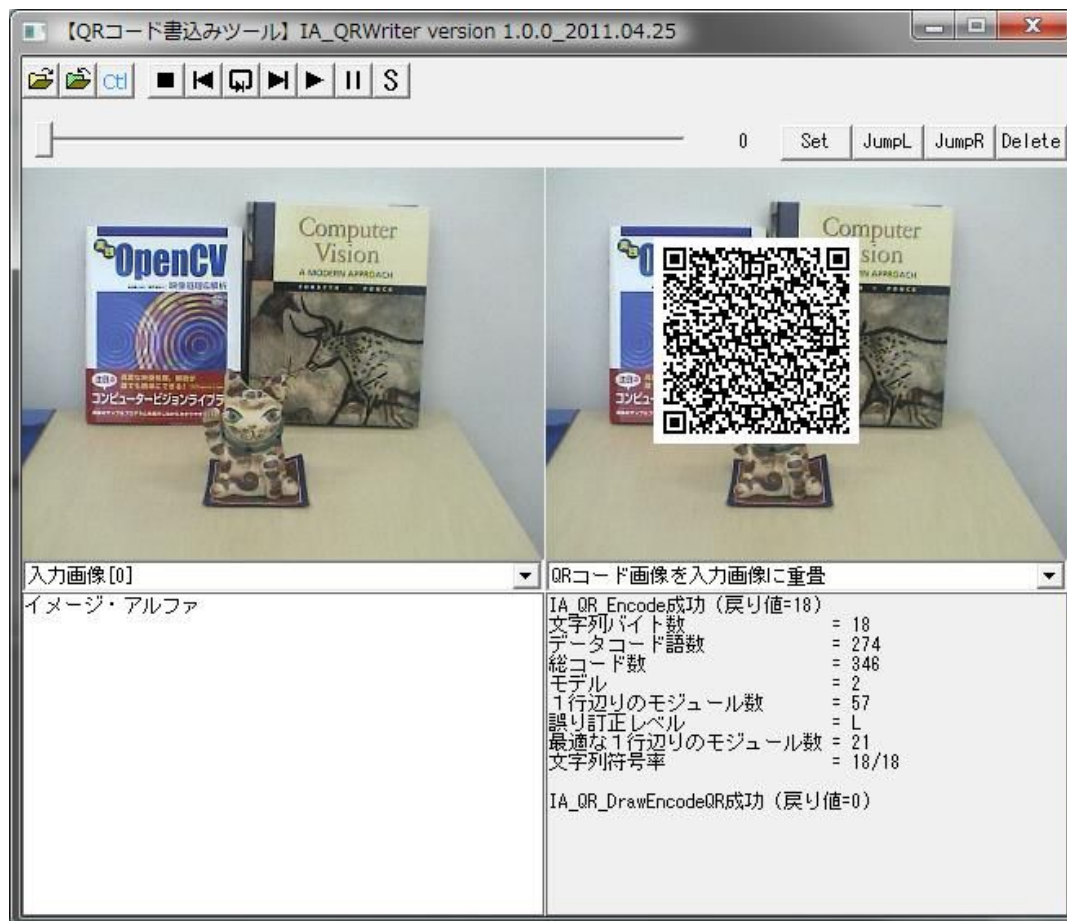


図 3-8 QRコードの重畳

3.5.1. 入力画像設定

画像入力設定ダイアログにて、入力画像(群)を選択します。

● 複数画像ファイル (AVI、MPEG など)

選択ボタンを押下し、画像ファイル選択ダイアログより処理したいファイルを選択し、ファイルを ON にしてください。

● 1画像ファイル (BMP、JPEG など)

ダイアログ操作の前に1つのフォルダに処理したい画像を格納しておいてください。

選択ボタンを押下し、そのフォルダの先頭画像ファイルを選択し、ファイルを ON にしてください。

(これによりフォルダ内の画像すべてが選択されたこととなります。)

● USB カメラ

ダイアログ操作の前に USB カメラを接続しておいてください。

画像サイズ、色を選択し、USB カメラを ON にしてください。

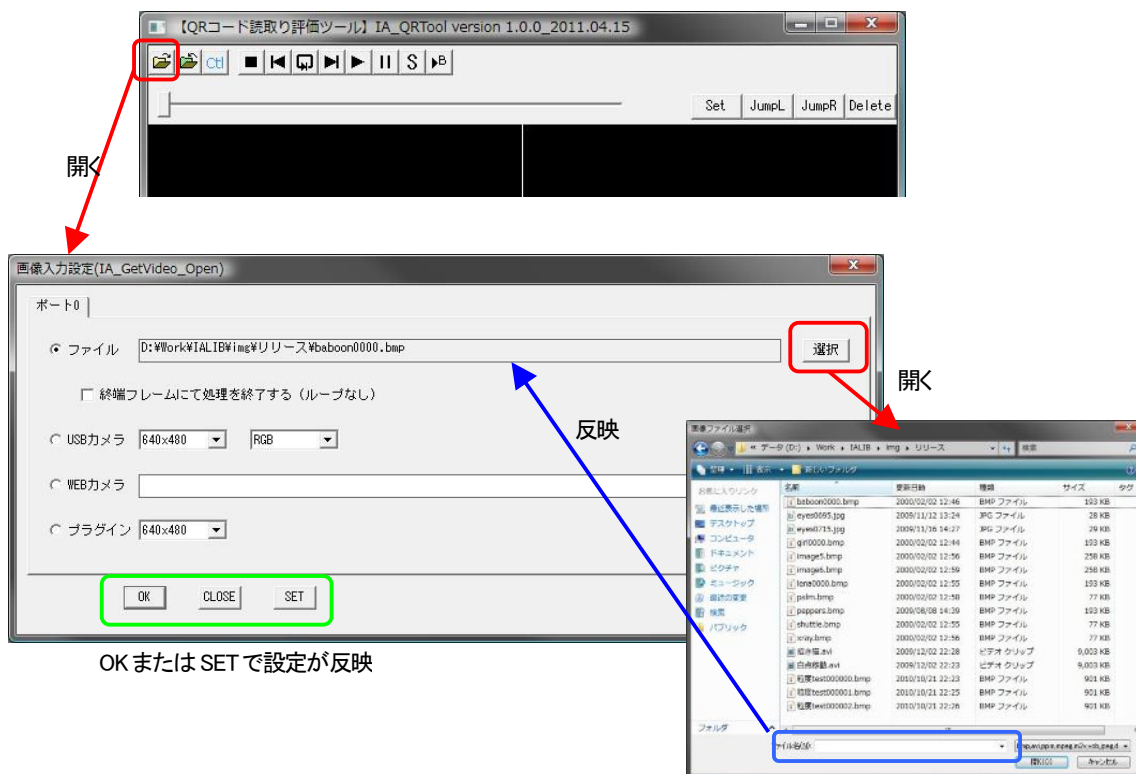


図 3-9 入力画像の設定

3.5.2 1画像入力、重畳

制御パラメータダイアログ(3.2節)メニュータブの「QRコード画像を入力画像に重畳」をONにし、ツールバーの再生ボタンを押下すると、設定した画像群(3.5.1節)から画像を1枚取り込まれ、QRコードを重畳します。



図 3-10 1画像入力、重畳

3.5.3. 重畳範囲選択

デフォルトでは、入力画像の左上に重畳されますが、
重畳範囲は制御パラメータダイアログ(3.2節)メニュータブにて変更できます。
処理Windowを有効にし、エディットボックスにキーボードより数値を入力してください。

また IA_View(3.4節)を使用すれば、キーボードではなくマウスのみで設定できます。(図 3-11)

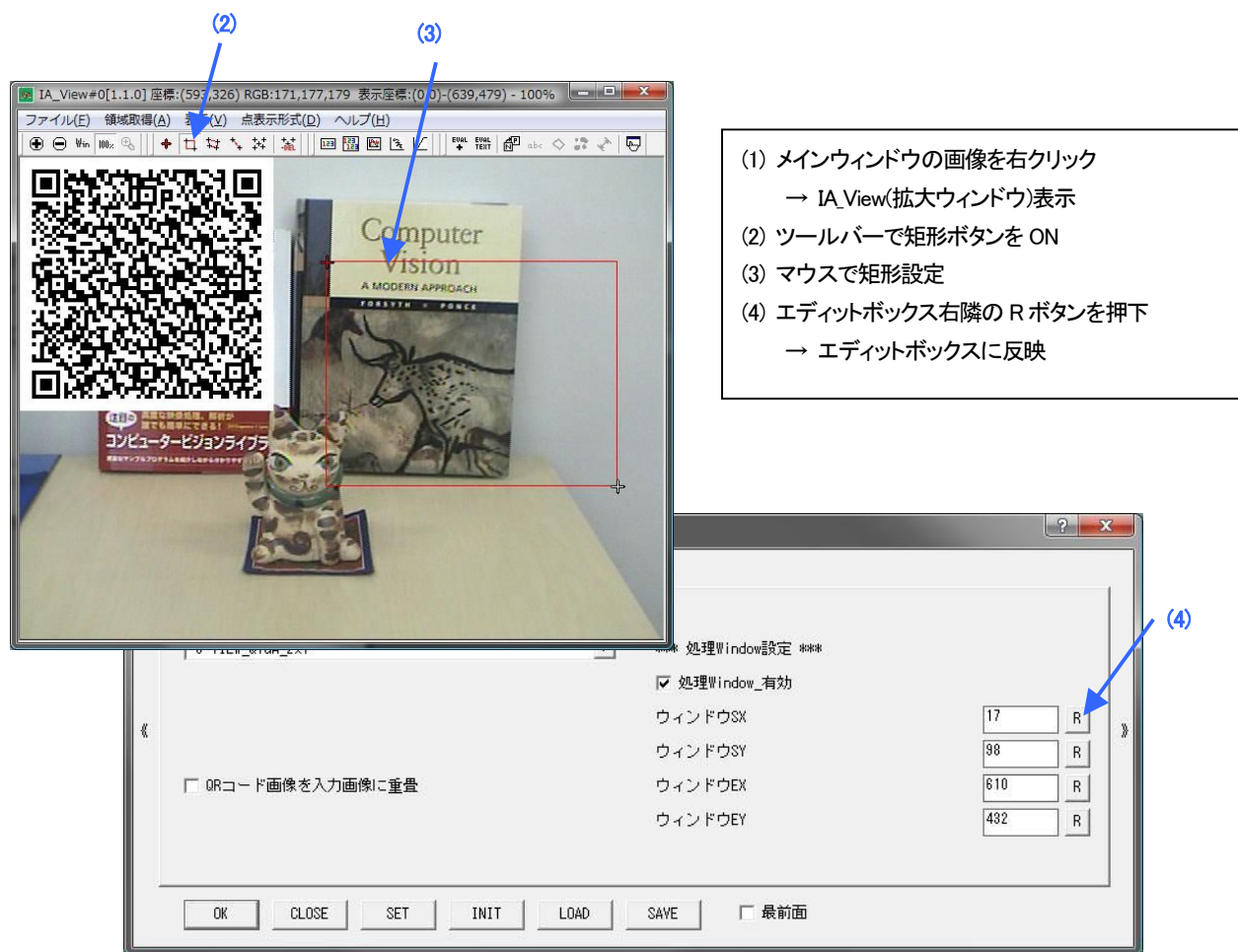


図 3-11 IA_View を使用した処理Window 設定手順